

横田基地のC V-22オスプレイの撤去等に関する意見書（案）

令和5年11月29日、米軍横田基地所属のC V-22オスプレイが鹿児島県屋久島沖で墜落し、日本国内では初めての死亡事故となった。

C V-22オスプレイは、横田基地に初配備されてから令和4年10月までに、エンジントラブルなどにより緊急着陸を複数回繰り返している。また、同年8月に、ノルウェー北部でクラッチの不具合により緊急着陸したことなどを受けて、米空軍特殊作戦司令部は、横田基地を含む米空軍保有のC V-22オスプレイ全機を一時飛行停止にした。不具合の原因はいまだ不明である。

オスプレイは、開発・試験段階から墜落事故が相次いでいる。今回の日本のほかに、米国本土やオーストラリアなどにおいても多数の搭乗員が死亡しているが、これらは戦闘ではなく、全て事故によるものであり、異常事態である。

開発・試験段階当初から指摘されてきたオートローテーション機能の欠如に加え、オスプレイの機体そのものに構造的欠陥があることは明らかであり、今回の事故は、起こるべくして起こった事故と言わざるを得ない。

よって、東京都議会は、国会及び政府に対し、横田基地のC V-22オスプレイについて、増配備を中止し、撤去することを米軍に申し入れるよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年12月 日

東京都議会議長 宇田川 聡史

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
総務大臣  
外務大臣  
防衛大臣

} 宛て